

悩みを相談する作業とは

今日、元部下が、午後赴任先に戻るとかで、仕事上のことで相談したいことがあると朝に電話があり、午前中来宅。

まあ相談内容はともかく、新年早々今日を待って相談に来るくらいだから、かなり思い詰めてのことだろうから、この正月は憂鬱な気分を迎えただろうと思うと、そのことが可哀想。

こうした時は、まずは聞き役になるように心掛けている。

人は、相談して「話す」という行為は、自分の中のもやもやした想いを整理しなくてはならない。

つまり、人に悩みを聞いてもらうために「話す」という行為は、どういう言葉を使い、どう言葉をつなぐかという作業ともいえる。その作業の中で、もやもやではなく、自分がどう意識するかという、その人の中である思考の姿になってきて、自分が気づかなかったことも意識できるようになる。故に、相談されると、まず聞き役になり、整理を手助けするように心掛けている。

(2002 年 01 月 03 日 記)